

# 第8回

## 日本ヘルスコミュニケーション学会 学術集会

### テーマ 人と人がわかり合うには ～「生」が放つコミュニケーション～

目の前にいる人と、私たちはどのように向き合い、コミュニケーションをはじめめるのでしょうか。

言葉で交わすコミュニケーションの前からすでに始まっている目の前の人との対話。そして医療や福祉の現場では、言葉にできない思いのもどかしさやそこで生じるコンフリクトの場面に遭遇することがしばしばあります。

そのような場面での“人と人がわかり合う”ときのコミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）をいっしょに考えてみませんか。

**日時** : 平成28年9月10日(土) 10:00～18:00

※共催セッション(9:30～12:00)

**会場** : 東京大学医学部 教育研究棟 14階(鉄門記念講堂)

東京都文京区本郷7-3-1

大会長: 高山 智子 (国立がん研究センターがん対策情報センター)

**14:20～16:00**

**基調講演** : フォトジャーナリスト 國森 康弘 氏

写真が語るいのちのバトンリレー ～看取りの現場から～

**16:20～17:30**

**シンポジウム** :

ことばにならない思いとケア

～受け止める、投げかける、分かち合う～

浦川町ひがし町診療所	院長	川村 敏明 氏
関西学院大学神学部	准教授	榎本 てる子 氏
山口赤十字病院	社会福祉士	橋 直子 氏

**一般発表** : 口演とポスター

**共催セッション1** : 性とセクシュアリティとコミュニケーション

**共催セッション2** : ヘルスコミュニケーションの未来を考える

—リテラシーからビヘイビア、そしてムーブメントへ—

参加費用(抄録代含む) 一般 5,000円 学生 1,000円

共催セッションのみ 2,000円

大会WEBサイト <http://healthcommunication.jp/hc2016/>